| 講義名 | 倫理学 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 越後　圭一 | | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 ３時限 | | 授業形態 | 講義 | |
| | | | | | |
| 履修開始年次 | １年生 | 単位数 | 2 | 備考 | |

## 主題と概要

倫理学とは、私たちが生きていくうえで何をすべきか、何をすべきでないか（＝規範）、また人間にとっての善ということについて、その根拠やさまざまな応用について考えていく学問です。この講義では、倫理学の扱う基本的な諸問題について、具体例をまじえて学んでいきます。

授業はすべてオンライン・オンデマンド形式でおこないます。授業動画のURLを各授業日前までにポータルと一斉配信メールにより告知するので、チェックし視聴してください。

## 到達目標

・知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための教養を身につける。
・生きていくうえで守るべき規範や善悪について原理的に思考できるようになる。

## 提出課題

・学期の中間にそれまでの授業内容に関する小レポートを提出してもらいます。（400字以上）
・また、学期末の試験はおこないませんが、最後に講義全体に関するレポートを提出してもらいます。（1000字以上）
※レポート提出時期の詳細については動画内で告知します。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

RYUKA Portal より各回の質問を受け付けます。

## 評価の基準

中間レポート（50%）、期末レポート（50%）

※いずれか一方のみの提出では単位取得点を満たすことはできません。
※いずれもウェブ上の文章をそのまま写した内容のレポートは失格扱いにします。

## 履修にあたっての注意・助言他

この授業では、倫理学の難しい専門用語などを極力用いずに日常の具体例に即して説明し、倫理学の基本的な諸問題について考えていきますので、もし自分ならどうするかという当事者意識をもって受講してもらいたいです。

## 教科書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| .使用しない. | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

## プリント資料及び参考文献

参考文献については各講義資料内で紹介する予定です。

## 授業計画

第 1回：　ガイダンス　倫理学とは
第 2回：　続・倫理学とは
第 3回：　善について（ソクラテス）
第 4回：　善について（プラトン）
第 5回：　正義について
第 6回：　功利主義と義務論
第 7回：　功利主義のジレンマ
第 8回：　脳死と臓器移植の問題
第 9回：　宗教と倫理
第10回：　自由について
第11回：　ヒューマニズムについて
第12回：　人間の権利
第13回：　環境問題と倫理
第14回：　持続可能な社会
第15回：　社会と倫理

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） | | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート | | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション | | カ：実習、フィールドワーク |
| | キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | | |

## 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業に臨むにあたり、それまで授業で配られた資料を復習し、倫理学にかかわるそれぞれの問いについて、とくに身近な具体的状況を想定したうえで自分ならどう考え行動するか考えてみてください。復習ですが授業の構成上それが次の回への予習にもなるので、復習に重点をおいて自主学習してみてください。（予習・復習で計２時間）

## 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、現代の倫理諸問題について、当事者意識をもって身近なところから具体的にその解決策を模索していく精神を修練するものであり、ディプロマ・ポリシーにおける「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に貢献するものです。また、自主性を不可欠の条件にもつ倫理というものの基本的な考え方を学ぶことで、「自主・自立の精神を持った人材」の育成にも貢献します。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

とくにありません。

## 実務経験の有無及び活用

## 備考

授業の進み具合等に応じて内容を変更する場合があります。